

子どもから地域の防災力を

片田敏孝@群馬大学理工学研究院教授

2013年7月29日 17:52

3.11以前に釜石の子供たちへの防災の教育

- ◆中学生「助けられる」から「助ける」へ
屋間人口で若者と呼ばれる層は中学生しかない。
高校生も市外へ通っている。
率先避難者として位置づける。

- ◆内発的気付き
「絶対、生きるんだ」という意思を植え付ける。
そこから避難所やハザードマップの知識の防災教育をおこなう。
[高石は順番が逆。](#)

- ◆てんでんこ
弱者を助けたというヒューマンズを優先すると犠牲者は増える。
てんでばらばらに一人で逃げたほうが犠牲者は減る。
先人が遺したこの厳しい現実を子どもたちにも伝える。
泣き出す子どもも。
[要支援避難者リストと、このてんでんこの頃の整合性をどう解釈するか。](#)

- ◆石碑の意味を
津波が発生するたびに石碑が増える
先人の犠牲を何度無意味にするのだ
現在も石碑は草が生い茂り、石碑以下の土地に居をたくさん構えている
子どもたちで石碑の掃除を

◆ひとつひとつの学校に応じた避難計画を

結果
釜石の奇跡以外で

釜石小は184名下校していたが、それぞれ生き抜いた。
「逃げなくても大丈夫」という大人たちを説得

内気な小学生
母親が助けに来たら一緒に飲まれてしまうから、自分が頑張って逃げることを決意。
涙ながらに悟らせる。

しかし、5名の犠牲者が。
いずれも保護者と一緒になくなった。
保護者への引き渡し
[引き渡しについて保護者との申し合わせを確認](#)
久々に会えたお母さんのお買い物
お婆ちゃんを助けるため

学校で教えても、大人が意識していなければムダ。
あるべき論と社会の実態の違い。
「大人は襟を正せ」

東日本大震災 死者：15,883名
行方不明者：2,671名
計：18,554名
関連死：20,000名越え

南海トラフ想定 全国：32万名
府：7,700名

高石市の課題
総合避難訓練への若者の参加
[高石市内の高齢者比率と照合させているのか？](#)

健全に恐れる
海の幸、美しい自然という側面もある
海の恩恵も災害も上手に付き合うことが肝腎
避難は、海と付き合うお作法

◆想定にとられるな

◆最善を尽くせ

◆率先避難者たれ

○姿勢の防災教育

×脅しの防災教育

△知識の防災教育



画面の領域の取り込み日時: 2013/07/29 17:55

津波てんでんこ 歌詞

生を受けた赤ん坊の命が 眩しいほど輝いているのと同じ命 あなたも持っている だから生きてることを責めないで

津波てんでんこ 津波てんでんこ

花が枯れて種を残すように どうか命つないで欲しい 私たちの幸せな記憶を 誰か一人残せるのならば

津波てんでんこ 津波てんでんこ

それは家族の哀しい約束 きっと他人（ひと）に否定されるだろう 私たちはそうやって今まで 細い糸で命つないできた

津波てんでんこ 津波てんでんこ

私たちは生きていかなければ 私たちは生き残らなければ たとえ他人（ひと）に非情と言われても それがあった一人だとしても

津波てんでんこ 津波てんでんこ 津波てんでんこ 津波てんでんこ